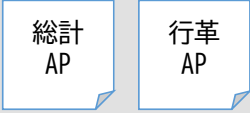
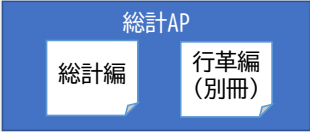
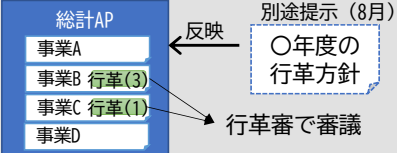


## 【運用案の比較】

運用案	メリット	デメリット
総計と行革で別々のアクションプラン 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の行革大綱の行動計画にあたるものが行革APだと理解しやすい。</li> <li>・管理側の責任分担がわかりやすく別運用ができる。(総計AP=企画、行革AP=行政経営課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総計AP、行革APの両方に該当する事業の管理が複雑(再掲にするなどの対応が必要。)</li> <li>・行革を総計に入れ込んだにもかかわらず、アクションプランだけ分ける理由が必要。</li> </ul>
総計アクションプランの中で章を分ける 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行革を総計に入れ込んだので合理的であり理解しやすい。</li> <li>・管理側の責任分担がわかりやすく別運用ができる。(総計編=企画、行革編=行政経営課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総計編、行革編の両方に該当する事業の管理が複雑(再掲にするなどの対応が必要。)</li> <li>・行革を総計に入れ込んだことによる連動性が薄れる。</li> </ul>
総計アクションプランの中で行革に関するものをタグ付けする 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行革を総計に入れ込んだので合理的であり理解しやすい。</li> <li>・総計と行革の両方に該当する事業を2つのアクションプランで管理する必要がなく、合理的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行革として、各年度で重点的に取り組む内容が伝わりにくい可能性がある。</li> </ul>

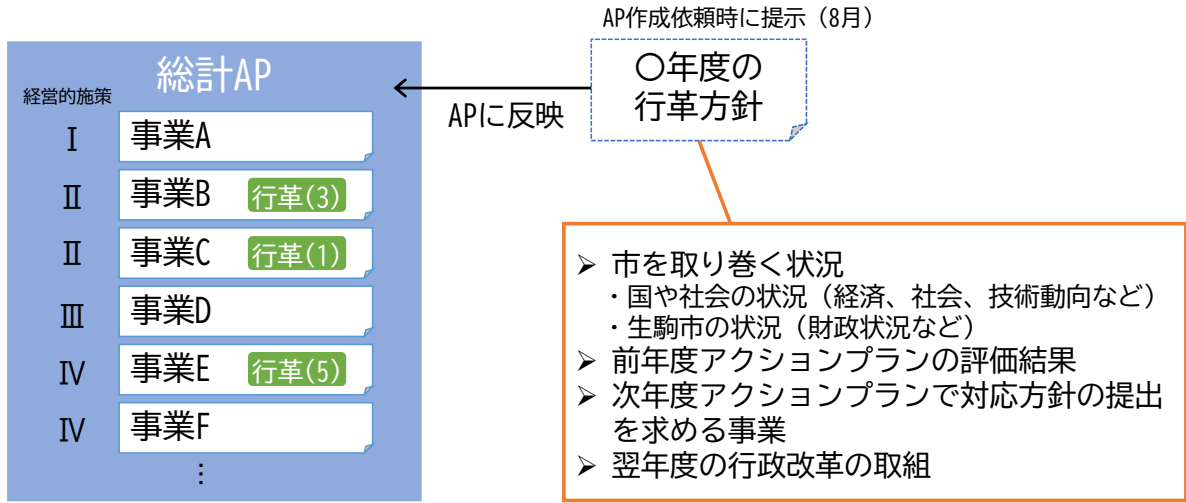
## 基本計画とアクションプランの関係

総合計画第2期基本計画
【基本的施策】 P.10
1 市民自治・学び
...
【経営的施策】 P.10
I スマートシティ・DX
II 市民協働・公民連携
III 広報広聴・シティプロモーション
IV 行政経営
第6章 行政改革大綱
【目指すべき方向性】 P.13
1 健全かつ成長につながる行財政運営
2 歳入増につながる施策の創出・強化
3 ファシリティマネジメントの推進
4 多様な主体との連携・協創
5 機動的な組織運営に向けた仕事の進め方・働き方の改革

経営的施策に紐づく事業と  
目指すべき方向性に紐づく事業が  
重複している。

総合計画アクションプラン	例
1	BASEいこま
...	
I	手続きのオンライン化
II	協創対話窓口の運用
...	
III	市政情報の積極的な公開
IV	使用料・手数料の見直し
IV	企業版ふるさと納税の推進
IV	生駒駅前公共施設の再配置
IV	職員研修の実施
...	

# アクションプランの運用について



## アクションプランヒアリング調書

施策名：行政経営

自分らしく輝けるステージ  
**生駒市**

<令和6年度事業>

行革大綱 目指すべき方向性 (3)

重点推進事業

事業名①	公共施設マネジメントの推進	事業区分	継続事業	主担当課	行政経営課	本事業に関係を有する課		
事業概要	公共施設マネジメントを推進するため、下記の事業を実施する。 .....					2つの視点の該当の有無	協働・公民連携	○
市民等からの意見聴取の有無	有	市民等からの意見聴取の内容(市民ニーズ等の状況)	生駒駅前周辺公共施設の再配置検討にあたって、オンラインと紙でアンケートを実施する。					
情報発信・プロモーションの方向性(方法等)	市民参加型合意形成プラットフォームや市HP等で、公共施設マネジメントの取組状況を市民が知ることができる状況にする。							
各年度の取組	R5	R6	R7	R8	R9			
	事業再配置に向けた検討アンケート調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇〇への事業集約に伴う整備</li> <li>・〇〇〇活用と事業の検討</li> <li>・〇〇〇と△△△の跡地利活用の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇〇活用と整備</li> <li>・〇〇〇と△△△の跡地利活用検討</li> </ul>	→	→			
総事業費(千円)	0	〇〇	□□	〇〇	□□			
特定財源(国・県補助金等)								
その他								
一般財源		〇〇	□□	〇〇	□□			
KPI(指標名・目標値)	削減延床面積(m <sup>2</sup> )	0	〇〇〇	□□□	〇〇〇	△△△		
事業実施に当たっての懸念事項								
他市の状況・その他特記事項	■公共施設の再配置：千葉県千葉市 など							

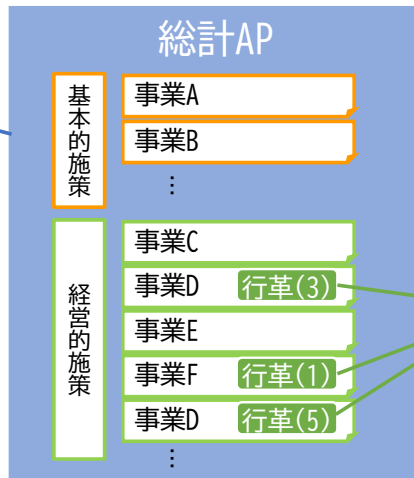
# アクションプランの評価について

全ての事業を対象に、総計・行革双方の評価項目について各担当課が自己評価

↓  
自己評価を総括した結果をもとに総計審と行革委員会双方で施策評価を実施

↓  
各審議会での評価結果を双方で情報共有

↓  
評価結果を次年度の行革方針に示し、AP策定に反映するよう依頼



第6章行政改革大綱の「目指すべき方向性」に該当する事業については、事業ごとに取組状況や成果・課題等について、行革委員会で評価を行う。

# 事業評価シートについて

- アクションプランに記載の各事業について、前年度の取組状況を担当課が自己評価するシート
- 総合計画側の評価視点と行政改革側の評価視点を1つのシートに盛り込み、各課に記入依頼

事業評価シート			
事業名	公共施設マネジメントの推進	担当課	行政経営課
事業概要	公共施設マネジメントを推進するため、生駒駅前周辺公共施設の再配置・統廃合を推進する。...		
事業費 (千円)	R5予算	R5決算	R6予算
	0	0	〇〇〇〇
指標	指標名	R5	R6
	削減延床面積 (㎡)	0	□□
...	...	...	...
コスト意識	A	〇〇補助金を活用し、一般財源の削減に取り組んだ。……	
目的思考	A	公共施設等総合管理計画の基本方針である「公共施設の適正化」と「民間活力の導入」という目的に合致した取組である。……	
...	...	...	...

イメージ例

事業の概要

総合計画側の評価視点

行政改革側の評価視点

# 事業評価シート の 行革評価項目 (案)

事業評価シート
事業の概要
総計の評価項目
行革の評価項目

事業評価

総計側の評価項目に加え、行政改革観点での評価項目を追加。

コスト意識	評価結果	費用の削減に取り組んでいるか。他事業との統合や連携に取り組んでいるか。
		<判断理由>
目的思考	評価結果	まちづくりの目標達成に貢献しているか、市が関与する妥当性はあるか
		<判断理由>
多様な主体との協創	評価結果	市民や事業者など民間活力を活用し、取り組んでいるか。政策形成初期段階から市民等の意見を取り入れているか。
		<判断理由>
デジタル・データ活用	評価結果	デジタル化の導入、導入後の評価改善など、効果的・効果的かつ柔軟に取り組んでいるか
		<判断理由>
総合評価	評価結果	施策への貢献度を総合的に判断
		<判断理由>

7

# 事業評価シート の 行革評価項目 (案)

事業評価シート
事業の概要
総計の評価項目
行革の評価項目

事業評価

総計側の評価項目に加え、行政改革観点での評価項目を追加。

<次年度の方向性>			
1. 現状で継続	2. 拡大して継続	3. 縮小して継続	4. 他事業と統合
5. 廃止	6. その他見直し		
<判断理由・取組方針>			

8

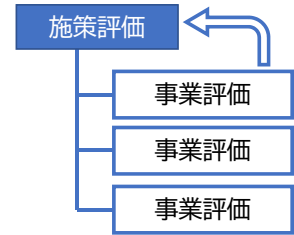
# 施策の有効性評価（行革委員会の評価）

施策の  
行革評価

行政改革推進委員会で評価

施策の評価結果

施策の行革評価	A
行政改革観点での 総評コメント	各事業とも、多様な主体との協創に取り組んでいる。 事業③について、費用対効果が低いため、事業の見直しを実施すべきである。……



各事業の評価結果

	コスト意識	目的思考	協創性	デジタル化	総合評価
事業①	A	B	B	A	A
事業②	B	A	B	B	B
事業③	C	C	B	C	C
...					

担当課記入の  
各事業評価  
から転記

# 行革委員会の評価を次年度APに反映

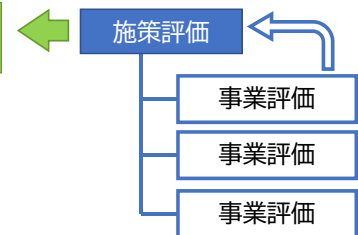
施策の  
行革評価

行政改革推進委員会で評価

施策の評価結果

施策名	施策の 行革評価	行政改革観点での 総評コメント
市民自治活動・学び	C	施策目標を実現するにあたって、 <b>事業①は効果が薄い ため見直しを行い、事業③や事業④に注力すべき</b> である。……
人権・多文化共生	A	各事業とも、多様な主体との協創に取り組んでいる。 <b>事業③について、費用対効果が低いため、事業の見直しを実施すべき</b> である。……
...		
行政経営	B	事業①は、民間活力を導入し、駅前公共施設の最適配置に向けた取組が進められている。 <b>事業②は進捗が遅れているため、重点的に取り組んでいく必要がある。</b> ……

次年度のAPに  
反映



次年度の行革方針に  
評価結果を示し、  
コメント内容への  
対応方針について、  
APで示してもらう。

# 年間の流れ

